

菊川町

小日本、清流の楽園

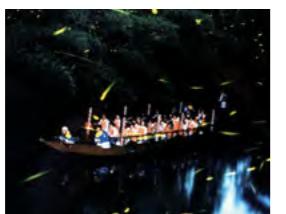
毛利藩時代、当時の庄屋が貴飯(きば)峠の眼下に広がる盆地をみて言つたとされる昔話から「小日本」といわれる田園の里です。



歌野清流庵

豊田町

蛍と渓谷の楽園



ホタル舟

豊浦町

いで湯と味覚の楽園

室町以来、800年の歴史を持つ名湯「川棚温泉」や、名物「瓦そば」など、味と湧湯に彩られたコスモス薫る里です。



リフレッシュパーク

豊北町

コバルトブルーの楽園

国定公園に指定された絶景の北長門海岸に浮かぶ人気の角島、弥生人骨の土井ヶ浜遺跡でも知られる潮風の里です。



角島大橋

旧下関市

「海峡のまち・下関」の表玄関

JR下関駅、国際フェリーターミナル、県下有数のショッピングゾーンなど、本州の「西の玄関」として賑わう中心市街地や郊外型住宅地など都市的サービスの充実したエリアです。



関門海峡と中心市街地



下関の交通アクセス	
新幹線	新下関駅
JR線	JR山陽本線 JR山陰本線各駅
中国自動車道	下関IC、小月IC
空港	山口宇部空港 北九州空港、福岡空港
フェリー	関釜フェリー(下関～釜山) オリエントフェリー(下関～青島) 関門汽船(下関～門司)



お問い合わせ・総合的なご案内

下関市 総合政策部 企画課

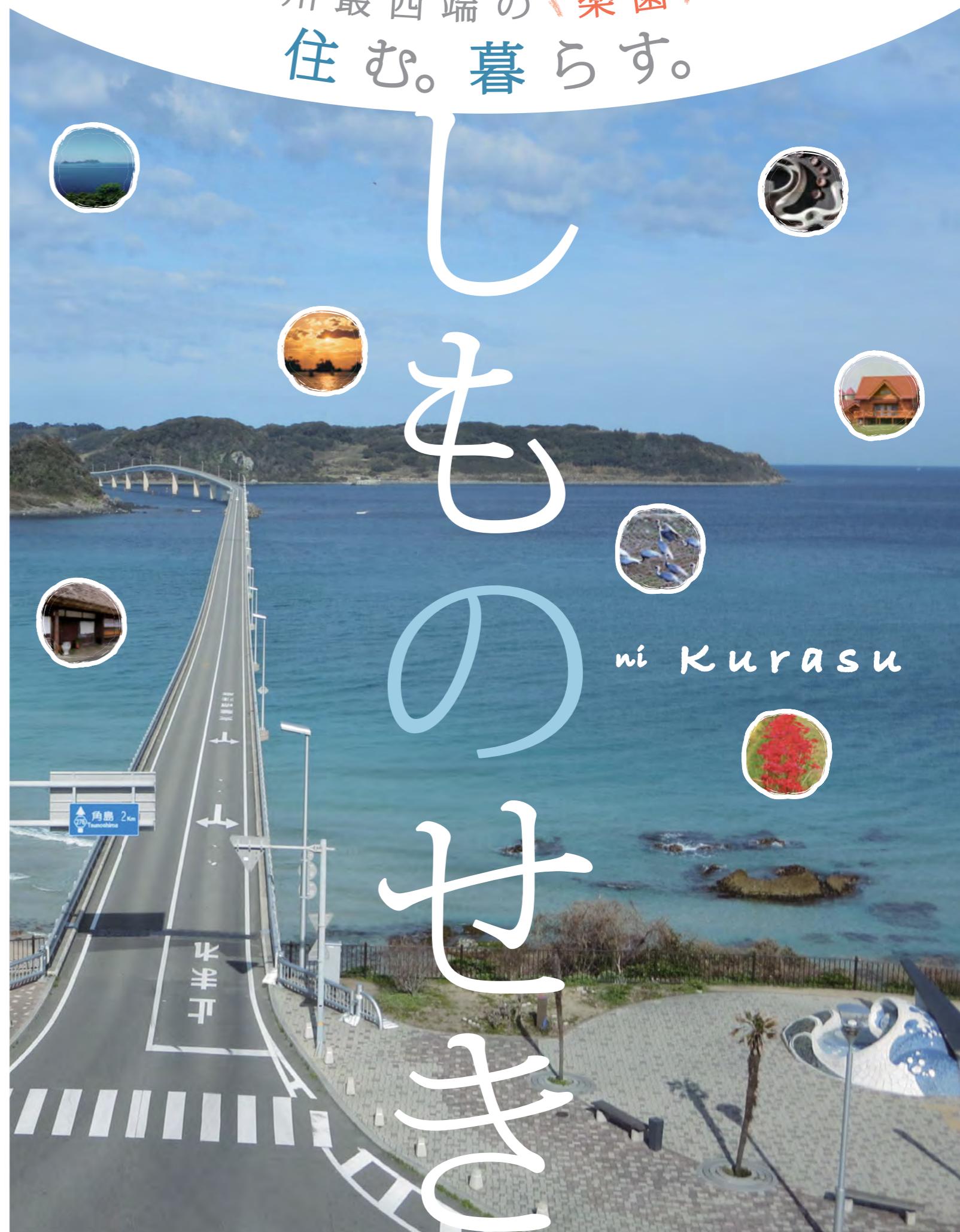
〒750-8521 下関市南部町1番1号

電話番号: 083-231-1911 FAX番号: 083-232-9569

メールアドレス: sskikaku@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

URL: www.city.shimonoseki.yamaguchi.jp

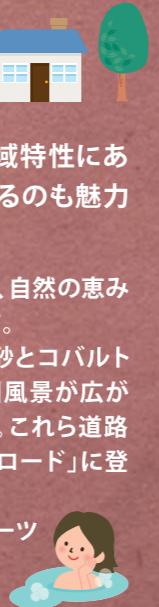
SHIMONOSEKI
本州最西端の
住む。暮らす。
楽園に



多様な自然と町のネットワーク。

都市として機能する中心市街地や自然豊かな郊外など、多様な地域特性にあふれる町は、様々なライフスタイルを満たします。地域に温泉があるのも魅力です。

- 関門海峡に臨み、多くの船が行き交う、経済活動の盛んな中心部から、自然の恵みがあふれ農林水産業が盛んな郊外まで、多様な地域が連なっています。
- 豊浦町から豊北町へ美しい海岸線が広がる西長門ブルーライン、白砂とコバルトブルーの海が素晴らしい角島、螢飛び交う豊田町、箱庭のような田園風景が広がる菊川など、海・山・田園のつながりが美しい景観を作り出しています。これら道路網で結ばれた下関を一周するルートは、日本風景街道「風波のクロスロード」に登録されています。
- 温泉も下関の魅力の一つです。身近な地域の温泉は、家庭菜園やスポーツなどの余暇を楽しんだ後に、心身ともに癒してくれることでしょう。



環境が良く自然災害が少ない町です。

- 地震の比較的少ない地域で、地震発生確率も低くなっています。(2013年「確率論的地震動予測地図」より)
- 旧下関市エリアは年平均気温16.5度と海洋の影響を受け比較的温暖な地域です。
- 維新・海峡ウォーク、下関海響マラソン、ツール・ド・しものせき(自転車イベント)は、環境の良さとホスピタリティーが好評で全国から多くの人が集まります。日々の暮らしの場の環境が人々を魅了しています。



交通網が充実しています。



都会からも、そして、都会へも、さらに地域内でも移動のしやすい“身近な町”です。(新幹線で博多から新下関まで26分)

- 山陽自動車道、中国自動車道や山陽新幹線の充実した高速ネットワーク。
- 山口宇部空港、北九州空港、福岡国際空港の3つの空港が選べます。
- 国道2号、9号、191号や、地域の幹線道路が整っています。
- 山陽新幹線、山陽本線、山陰本線が交わる鉄道結節点です。
- 中国(青島、蘇州)、韓国(釜山)への国際定期フェリー航路があり、旅客・貨物の拠点です。

都市部と郊外のバランスが良く、環境や交通の便が良い、様々なライフスタイルに対応できる“身近な町”です。

どんなどころ？



豊かな自然に囲まれた町

アksesしやすく
28万人の中核市で、三方を海に開かれ、中心部には都市機能、周辺には豊かな自然環境が広がります。気候が比較的穏やかで、ふく、うに、くじら、イカ、あんこうなどの海の幸、野菜や果物なども豊富です。関門海峡には多くの船が行き交い、新幹線、在来線、高速道路など、本州と九州を結ぶ交通の要所としての一面もあります。海峡と歴史のまち下関で新しい暮らし、はじめませんか？

下関への移住を希望される方に様々な支援制度があります。

働く

下関市に移住を希望される方の就職・起業をサポートするための様々な支援制度があります。就農、就漁を希望される方には、研修制度もありますので、お気軽にお問い合わせください。



就職・起業したい方への支援

- ・空き店舗を使って開店される方への支援として、「下関市あきんど活性化支援事業」による補助金制度があります。
 - ・新たに事業を開始される方や事業開始後1年以内の方で、経営に資金が必要な場合「下関市起業資金融資」をご利用いただけます。
- 問 工商振興課 ☎ 750-0009 下関市上田中町一丁目16番3号 電話番号:083-231-1220
- ・下関市中心市街地に事務所を開設される方は、事務所経費や新規雇用に関する補助金制度があります。(産業立地係)
 - ・新規創業などを目指す方は、「創業支援施設」で貸事務所を低料金で提供しています。(産業立地係)
 - ・就職についてのサポートを行っています。(就業支援係)
- 問 産業立地・就業支援課 ☎ 750-0009 下関市上田中町一丁目16番3号
産業立地係(電話番号:083-231-1357)
就業支援係(電話番号:083-231-1310)

農業を始めた方への支援

山口県では、(公財)やまぐち農林振興公社を中心に、市町や農林業関係団体と連携して、人材発掘から経営安定に至るまでの一貫した支援体制を整備し、地域農林業の担い手の確保・育成に努めています。

- 問 (公財)やまぐち農林振興公社 ☎ 753-0821 山口市菱二丁目5番69号 電話番号:083-924-8100
問 下関市農林水産振興部農業振興課 ☎ 750-0009 下関市上田中町一丁目16-3 電話番号:083-231-1250



漁業を始めた方への支援

漁業経営を新たにはじめようとする方で、全く漁業経験がない方は、漁業者の船に乗り込み指導を受けながら漁業技術取得のための研修が受けられます。

- 問 山口県漁業就業者確保育成センター
☎ 750-0065 下関市伊崎町1-4-24(山口県漁協指導課内) 電話番号:083-231-2212

住む

下関市では空き家バンクを開設し移住を希望される方に情報を提供しています。また、5年をめどに暮らしながら新居をさがすことのできる豊北ハイツや、定住された方に定住奨励金制度(条件があります)があります。

- 問 下関市総合政策部企画課 電話番号:083-231-1911



下関定住促進住宅「豊北ハイツ」

下関市へのUJTアーンを希望される方が、一定期間(5年間)低廉な家賃で入居できる住宅です。角島などの豊かな自然に囲まれた地域で、定住のための住宅を探していただくことができます。

定住奨励金制度

対象地域【豊田・豊北地域、蓋井島・六連島】に移住した方には定住奨励金を1世帯につき10万円を支給しています。また、第3子以降の子1人につき出産祝い金20万円を支給しています。



市有地等活用定住促進助成金

新たに下関市に移住する方が下関市の指定土地を購入し、自らが居住するための家屋を建て、定住されると、購入した土地と建築した家屋の毎年度の固定資産税等相当額の助成金を10年間交付します。

移住者新築住宅購入支援助成金

新たに下関市に移住する方が下関市内の土地に自らが居住する新築住宅を登録事業者から購入・建築し、定住されると、住宅の購入・建築費用を官民が折半で最大100万円相当を支援します。

体験

- 農業体験・そば打ち体験
(下関農業公園みのりの丘)
- 酒米オーナー制度(大河内百姓村)
- 田舎体験イベント(貴和の里)など



るものせき ni Kurasu

次世代に残したくて。
ふるさとの原風景を



藤岡基昭さん

U TURN 30周年!

東京都⇒豊北町



- Uターン当時の年齢 39歳
- 移住歴 30年
- 現在の職業 農業
- 家族構成 本人、妻、母親

移住者へのメッセージ

とにかく一度足を運んでください。インターネットで情報は氾濫していますが、現地に行き住んでいる人の声を聞いてください。移住する前に、頼りになる人を作ること・核となる人とのつながりが移住する前に出来あがれば移住後の地域への溶け込みも早いと考えます。移住者に頼りにされる定住サポーターになれるようただ今努力中。

移住のきっかけ

農家の長男としてUターンは当然と考えていました。戻って再就職を考えた時、40歳までないといふと感じていた為39歳で故郷へ帰ってきました。

移住して良かったこと

田植えから稲刈り体験、そばの栽培から製粉、そば打ち体験を通じての都市・農村交流に生きがいを見出しています。

移住して感じたこと

過疎高齢化が進んでいく現状に、このままではだんだん寂しい地域になっていくのではという危機感を感じました。



そば打ち体験作品



鶴飛来



彼岸花



そば高嶺ルビー



そば畑

陶芸家
Eric ATZORIさん

アツゾリ エリック

I TURN フランス・パリ⇒豊浦町



- Iターン当時の年齢 35歳
- 移住歴 15年
- 現在の職業 陶芸家・フランス語&スペイン語講師
- 家族構成 本人、妻、子(1人)、義父母

移住のきっかけ

33歳の時パリの陶芸教室で、ろくろによる陶器づくりと運命的な出会いを果たしました。それ以来、私の陶器に対する思いは募るばかり。どうしても陶芸王国・日本で創作をしたくて、フランスで知り合った日本人の妻を説得し、彼女の故郷である豊浦町で陶房を開くことにしました。

移住者へのメッセージ

15年暮らしてみて、日本の他の所と比べてみると非常に自然災害が少ないように思います。人々や景観がとても美しく、非常に心地よいところです。

移住して良かったこと

私のような異国からの人間を、何のためらいもなく迎え入れてくれました。私は、豊浦町という土地に恵まれると同時に、人に恵まれました。

移住して意外だったこと

生粋のパリジャンで常に都会で生活してきたにもかかわらず、すんなりと豊浦町での生活に違和感なく溶け込めたことです。

情熱で拓く、
新たな芸術世界。

アトリエ テールエフー
●下関市豊浦町宇賀本郷4529
●Tel・Fax 083-776-0456



じものせき

ni kurasu

のどかな田園で 田舎暮らしカフェ。

菜園カフェ ポモドーロ

- 営業時間 10:00～17:30(月・火定休)
- 下関市菊川町下大野762
- Tel・Fax 083-287-0366



猿渡義博さん

I TURN 福岡県⇒菊川町



- Iターン当時の年齢 55歳
- 移住歴 5年
- 現在の職業 飲食業(カフェ経営)
- 家族構成 本人、妻

移住者へのメッセージ

気候や風土などその土地によって色々違いますから、気になる土地が見つかったら四季を通じてリサーチされた方が良いかと思います。特にその土地の人達に気になることを直接聞いて確認したら良いですね。それと良く言いますけど、「郷に入っては郷に従え」ですね。こちらでは定期的に神社と公民館の掃除や地域内の缶拾いがあります。勿論、皆勤賞です。



移住のきっかけ

福岡に住んでいた時、近くに市民農園が出来たので直ぐ応募していろんな野菜を栽培してみました。野菜作りは初めてですが、色々勉強しそれなりに良いものが出来まして、そのうちもっと広い場所で野菜を作つてみたくなりました。そうすると作った野菜をどうするか色々と考えた末、飲食店を開いてそちらで野菜を消費しようと考えました。それから福岡県を中心に隣接する県を含め開業出来そうな土地を色々探した結果、「下関市菊川町」に理想的な場所がありましたので移住を決めました。

移住して良かったこと

「菊川町」は現在、市町村合併で下関市ですけど、旧郡部だった所ですから自宅の周りは田圃と山が沢山あります。とにかく過ごせています。それに隣との距離が結構ありますから、周りを気にしなくて良いですね。それと近くの農家から、時々ですが我が家で作っていない野菜・果物や山で採れたタケノコなど頂いています。あと、町内に「道の駅」や「農産物直売所」がありますから、色々助かっています。

移住して意外だったこと

田舎に移住するので、近隣とのお付き合いなど不安はありましたけど、思ったほど問題は無く、皆さんと気持ちよくお付き合いさせていただいています。それとこちらは「下水道」が整備されていますから、トイレが水洗だったので驚きました。



菊地裕子さん

I TURN 千葉県(実家は岩手県)⇒豊北町



- Iターン当時の年齢 34歳
- 移住歴 2年
- 現在の職業 道の駅「北浦街道ほうほく」総務部スタッフ
豊北町観光協会 事務局員
- 家族構成 本人、子(2人)、両親

移住のきっかけ

東日本大震災で実家が流され、両親は仮設住宅での避難生活をしていましたが、体調を崩し『移住』という形で新しい住まいを探すことになりました。自然災害が少ない、原発が少ない、繁華街まではほどよい距離…と条件をあげて日本全国を調べているときに、角島大橋と海の美しい景色の写真を見て豊北町を訪れるに。人生初の下関市でしたが単独で見に来たその日に物件を仮契約。両親と、千葉県で暮らしていた子どもたちと移住してきました。

移住者へのメッセージ

移住には行動力、判断力、決断力、しっかりと情報収集が必要です。決して「簡単なこと」ではないですが、「怖いもの」でもありません。新しい生活の場を自分で作り上げて行くことができるビッグチャンス「転機」です。

移住して良かったこと

家族が集える新しい『実家』と第二の故郷ができたこと。両親の体調が良好になったこと。生活を一気に変えたリスクなど気にならないくらい充実した日々を家族で過ごせていること。

移住して意外だったこと

『何でまたこんな場所に…』と不思議そうに聞いて来られる方と、『ようこそおいでました』と歓迎する方と極端に偏っていたように感じました。今住んでいる場所に自信を持つ!



中村幸一さん

U TURN 福岡県⇒蓋井島



- Uターン当時の年齢 26歳
- 移住歴 6年
- 現在の職業 漁師・民宿経営
- 家族構成 本人、妻、子(2人)、両親、祖母

漁家民宿「おけや」

●下関市大字蓋井島96 ●Tel・Fax083-286-6264

島を出るきっかけ

島には遊ぶ所も無く、本土に居る友達と疎遠になるようで、若い時は淋しかったこともあります。本土にある調理師学校に通いました。

島に帰るきっかけ

島を挙げて、オーストラリア原産エミュー牧場を始める事になり、島民から「若い力が必要だ。手伝ってほしい。」と依頼され、帰ることを決めました。

移住者へのメッセージ

ふるさとは、とても良いところ。たまには帰ってきたらいい。近所のおじさんと話してみたら、今まで気づかなかった、日本の良さ、ふるさとの良さに気付くはず。

移住して良かったこと

子供はのびのび遊び、島のみんなで子どもを見守ってくれている。島のみんなが家族のようだ。



移住して意外だったこと

具体的に言い表せないけれど、自分の中の何かが変わった。若い時には嫌だったこの土地が本当はとても住みやすく、生活しやすい環境だった。このことに気付いただけでも島に帰ってきて良かった。

05

本州から約6km離れた
人口100人ほどの
小さな島・蓋井島。



04